

## 愛知県立芸術大学 芸術教育・学生支援センターは

### 学生生活上のあらゆる「問題」や「困難」に焦点を当てた支援を行います

- 障害・病気・心身の不調や悩みなど、学生生活上の「問題」や「困難」と向き合います。
- 授業や学習のこと、人間関係のこと、将来のこと、自分自身のことなど、どんな内容でも相談できます。
- 本人の許可なく相談内容を学内外に伝えることはありません。原則秘密は守られます。
- 本人の同意のもと、学内外の関係者間で必要な情報を共有し、適切な支援を受けられるように連携します。
- ご家族や教職員からの相談も支援の出発点とし、学生に関わる周囲の方々もサポートします。

## 1. こんなことはありませんか？チェックしてみましょう

### ご自身が

#### こんな気持ちになったら…

- 生きているのがつらい ※
- レポートや課題ができない
- 大学に行けない
- 病気や障害のことで不安がある
- 友達や先生とのことで不安がある
- 眠れない、食欲がない
- 体調不良が続いている
- 集中できない、やる気が出ない
- 周りの音や声が気になる
- 何となく話したい

### 教職員が

#### こんな学生に気付いたら…

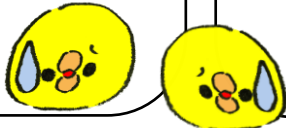
- まったく連絡がとれない ※
- 自分や他人を傷つける恐れがある ※
- 4回以上無断欠席している ※
- 課題の提出がない
- 遅刻や欠席が多く、心配な点がある
- いつも体調が悪そうに見える
- 指導や話し合いが難しい
- 支援や配慮をしたいが、どのような方法が良いのかわからない

### 保護者や友人の方が

#### こんな学生に気付いたら…

#### こんな気持ちになったら…

- まったく連絡がとれない ※
- 自分を傷つけているようだ ※
- 「死にたい」等と言ったり SNS に書いたりする ※
- いつも様子が違って心配
- いつも体調が悪そうに見える
- 友人の相談にのっていたら、自分まで辛い気持ちになってきた（友人の方）
- 大学に知らせておきたいこと・配慮してほしいことがある（保護者の方）



## 2. ☑がついた方は、ぜひご相談ください

1. のチェック項目以外のことでも、どんなことでも相談できます。相談の秘密は守りますので、安心してご相談ください。

\*1の※マークの項目は、生命の安全が心配される項目です。緊急と判断したときには、相談者と協議の上、保護者・保証人・身元引受人等へ連絡し、必要最小限の範囲で情報共有することがあります。

\*どこに相談したら良いかわからないときは、慣れているところ、行きやすいところにご連絡ください。お話しを伺い、希望に応じて、適切な部署におつなぎします。

### 芸術教育・学生支援センター 相談窓口

#### 管理棟 1階 保健室・相談室

電話番号：0561-76-6499

- 心理相談員（臨床心理士） 高村（たかむら）、都築（つづき）
- 保健師 松浦（まつうら）
- 看護師 田中（たなか）

#### 管理棟 2階 学務課 学生支援・国際連携係

電話番号：0561-76-2843

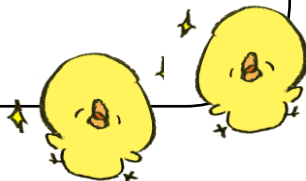
- 奨学金 ●授業料減免 ●学籍異動（休退学など） ●就職相談 ●国際交流室 などの担当者

### 3. 相談すると、どうなるの？

芸術教育・学生支援センター（学生支援係・相談室・保健室・心理相談員など）が中心となり、相談者の希望や状況を伺います。ご相談頂いたあとは、下記のようなことができます。

#### 保健室・相談室では…

- 心身の健康や、障害についての相談ができます。  
困っていること、して欲しいことを聞かせて頂けませんか。  
一緒に方法を考えましょう。
- 静かな部屋で休養できます。
- 近隣の機関を紹介します。病院、保健所、ハローワーク、地域の相談窓口などをご紹介したり、希望に応じて情報を伝えます。
- 心理面談（カウンセリング）や、自分を知る手がかりとなる心理検査などがあります。



#### 保護者の方へ…

- ご家族からの相談も支援の出発点とします。  
ご家族の心配なお気持ちや、大学入学前に受けていた支援など、ぜひお聞かせください。
- ご家族の協力が必要な場合、学生ご本人の了解を得た上で、芸術教育・学生支援センタースタッフから保護者の方へご連絡をさせて頂くことがあります。
- 入学前や入学検討中の方で、大学生活に不安がある方のご相談にも可能な限りおこたえします。

#### 教職員の方へ…

- 学生の了解を得た上で、学生が困っていることや、して欲しいことを伝えます。これまでに授業・実習時の配慮や、履修の相談など、様々な情報共有、連携をしています。
- 支援の方法や学生への接し方について、カウンセラー、コーディネーターと一緒に考えます。  
授業の本質や到達目標のラインを変えることなく、どのような方法の工夫ができるか、建設的に話し合うことが必要です。
- 学生の安否確認や、保護者の方へのご連絡をします。

#### 友人が悩んでいるときは…

- ぜひ相談室・保健室をご紹介ください。お友達同士で来てくださるのも大歓迎です。
- お友達の相談を受けているあなた自身のお話を伺うこともできます。  
お友達の辛い気持ちをたくさん聞いていると、あなた自身も苦しい気持ちになることがあるかも知れません。  
そんなときは一人で抱え込まず、相談してください。あなたが相談に来たことや、話してくれたことの秘密は守ります。



#### Q & A

Q.話す内容がまとまっていないし、聞いてもらうのは申し訳ない気がします。

A.大丈夫です、一緒に整理しましょう。まずは一度、ご連絡ください。

Q.もう大人なのだから、自分のことは自分でできたほうがいいのでは？

A.困ったときには適切な支援を求めることも必要です。支援を要請するスキルを身につけることも目指します。

Q.提出物や出席は本人のやる気次第なのでは？

A.障害や病気、性質により困難になることがあります。また、やる気が出ない背景に複雑な問題が絡んでいる可能性もあります。

Q.診断書を提出すると、出席や試験が免除されるのですか？

A.授業の本質（学ぶべきこと）や評価基準は変わりません。どのような工夫や支援があれば修学できるかを一緒に考えましょう。